

むゆいげ

106号
No.1106

2014(平成26)年
8月1日

ふりしるを
ふりがかえると
勇気が
いける
わき見をすると
他人のことが
気になる

みつを



相田みつを美術館
オリジナルカレンダーより頂きました

発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769

第25代専如ご門主法統を継承されました

六月六日、第24代即如ご門主から専如新門さまに法統が継承されました。法統継承式では、第25代専如ご門主さまが御影堂の御真影の尊前で初めての「ご消息」を發布されました。宗祖親鸞聖人からの法統が受け継がれ、宗門の新時代が幕開けしました。

激動するこの時代、新たに法統を受け継がれた専如ご門主を仰ぎつつ、聖人と先人のご苦勞を再確認しながら新時代を歩んでいきたいと思います。

法統継承に際しての消息

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主に就任いたしました。

ここに先代門主の長きにわたるご教導に深く感謝しますとともに、法統を継承した責任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞聖人によって、浄土真宗というご法義として明らかにされ、その後、歴代の宗主方を中心として、多くの方々を支えられ、現代まで伝えられてきました。その流れを受け継いで今ここに法



4月8日 お釈迦さまのお誕生をお祝いする「花まつり」。賑やかにたくさんの方々とお祝いできました



3月26日 本願寺において、野口カズ工様、中西千恵子様
が帰敬式を受けられました。

統を継承し、未来に向けてご法義が伝えられていきますよう、力を尽くしたいと思います。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは時代の常識に疑問を抱かなかったことによる対応、あるいは宗門を存続させるための苦渋の選択としての対応など、ご法義に順つていないと思える対応もなされてきました。このような過去に学び、時代の常識を無批判に受け入れることがないよう、また苦渋の選択が必要になる社会が再び到来しないよう、注意深く見極めていく必要があります。

宗門の現況を考えます時、各寺院にご縁のある方々への伝道はもちろんのこと、寺院にご縁のない方々に対して、いかにはたらきかけていくかを考えることも重要です。本願念仏のご法

義は、時代や社会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていかねばならないでしょう。現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を集める必要があります。

また、現代のさまざまな問題にどのように取り組むのか、とりわけ、東日本大震災をはじめとする多くの被災地の復興をどのように支援していくのかなど、問題は山積しています。

「自信教人信」のお言葉をいただき、現代の苦悩とともに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたいと思います。

平成二十六年 六月六日

龍谷門主 釋 專如

※消息：ご門主のお手紙形式の文書。決意文。

※自信教人信：阿弥陀さまの本願の救いを自分も信じ、他人にも信を勧めること。



6月6日 専如ご門主が法儀の伝統を継承したことを表明する「法灯継承式」が本願寺で営まれました。



4月13日・14日 永代経法要をお勤めいたしました。ご講師は武田達城先生でした。



6月29日 第14回目となる人生講座が開催されました。

夏季・お経の練習会のご案内

◎ 8月31日(日)

午後3時より午後5時過ぎまで
場所 萬徳寺 本堂

◆「正信念仏偈」を練習いたします。

◆今年も暑い中での練習ですが、本堂は涼しいですよ。皆さま、お誘い合わせの上、ご参加下さい。心よりお待ちしております。

私たちは今日まで、
何と多くの「おかげさま」に
生かされてきたことか。
願われているいのちと
知らされた日から、
心豊かな人生がはじまるのです。





住職のひとり言

◆ 8月のうだるような暑さの中、今年もお盆の季節を迎えました。地球温暖化の中、日本も亜熱帯化し、ここ数年ゲリラ豪雨、竜巻等の発生が頻繁に起こるようになってまいりました。熱中症の報告も日常的。日本も厳しい自然環境になつてまいりました。

◆ 今年も厳しい夏で迎えるお盆は、浄土真宗では先立たれた方々のご生涯を偲び、共に生きた記憶やご恩を振り返り、感謝の思いで仏さまに手を合わせる期間だと思えます。前に往かれた方々との尊い出会い（親と子、他）に思いを馳せ、私たちのかけがえのない人生を終える時、阿弥陀さまのお導きの中で、光と智慧の世界・お浄土へと歩ませてください。ただけるよろこびをかみしめ、お念仏申しませよう。

◆ 6月6日 即如前門主さまから法統を継承された新門主専如さまが親鸞聖人が示されたご法義の伝統を継承したことを表明する「法統継承式」が本山で営まれ8000人の門侶が参拝しました。前門主さまの在位37年のご苦勞に感謝し、新門主さまの決意のご縁に遇わさ

せていただきました。

個人情報により非表示にさせていただきます。

愛しいかけがえのない方が阿弥陀さまのいのちに

還つていかれたのです。この悲しみを尊いご縁といただき、お念仏を申す人生を歩んで下さいませ。お念仏の香りがそれぞれのご家庭に染み通っていきますよう念じます。

◆ 6月29日 出口湛龍師、ソプラノ歌手武田有美子さんをお迎えしての第14回『人生講座』には、蒸し暑い中、大勢の門信徒、地域の方々がお参り下さいました。出口先生には二度目のご出講です。武田有美子さんのすばらしい、透きとおる歌声の後、出口先生の歌詞の深い意味や簡単なご法話をされる方式でのミニコンサート。仏歌あり、現代歌ありのさわやかな歌声に、お参りいただいた方々は本当に明日からのいのち、元気をいただきました。

◆ 島上西組では、4月より始まりました第3期「連続研修会」（平成26年4月～平成28年1月）に萬徳寺門信徒から、仏教婦人会役員の久保田春美様、河野芳子様に参加していただきます。「連研」とは、全国門信徒の方々、「全員聞法・全員伝道」の精神のもと、「話し合い」形式で「み教え」を学んでいた

だく連続研修会です。お二人の方々ご苦勞さまで。